

第3回 諏訪市 ICT 教育推進協議会記録

課所名

教育総務課

会議名 第3回 諏訪市 ICT 教育推進協議会

開催日時 令和4年2月14日(月) 午後 16時00分 ~ 17時28分

開催場所 オンライン開催 (諏訪市役所 大会議室)

出席者
会長:五味 康剛、 副会長: 榊澤直樹 (敬称略)
委員:小島雅則、宮尾昭広、河西一樹、飯野敏行、五味和高、尾崎剛、伊藤正敏、小島郷史、
神谷慎介
事務局:細野教育次長、柳平教育総務課長、森教育企画係長、名取主任、岩波指導主事

資料
◇配布資料
No.1 前回協議会以降の ICT 教育に係る動向
No.1 補足 市内小中学校視察報告①
No.2 「諏訪市 ICT 教育推進計画(案)」ご意見への対応結果一覧表
諏訪市 ICT 教育推進計画(修正案)

協議議題(内容)及び会議結果(要旨)

1 開会(教育総務課長)

2 教育長あいさつ

3 協議

(1)ICT 教育の現状等について

・前回協議会以降の ICT 教育に関わる動向について

【事務局より説明】(資料 No1)

会長:城南小学校では「総合的な学習」で防災・震災について各自の考えをタブレットでまとめ、それぞれの考えを無料のアプリを活用し、防災マップを作っていた。児童 1 人ひとりが課題に対して自分なりの想いや考えを駆使し、プログラミングしながらマップを作り上げていく学習で、プログラミング教育の具現にもつながる深い学びとなった。

現在の学習指導要領では、「主体的・対話的で深い学び」、アクティブ・ラーニングの実践が求められている。コロナ禍で実践が難しい中、その学びを支える1つの手法が、ICT 機器を活用した学習であるといえる。教育の様々な場面で子供たちの学びをより深いものとするとともに、先生方の働き方改革にも繋がる活用を進める必要がある。

質疑・意見交換

委員:スタディノートの職員向け研修であるが、来年度以降も各学校に巡回して使い方について広めていけるよう進めていきたい。

会長:実際にどんな場面でどのようなアプリケーションが使えるのかわかると先生方の活用の幅も広がると思う。

委員:学校休業中、オンライン授業配信等進めてきた。使いこなせるうれしさもあるが、新たな課題も見つかった。

委員:本校では持ち帰りを始めているが、課題がある。1つは破損の問題。今後も破損は増えていくと思うが対

応はどうしていくのか。2 つ目、破損の対応については保護者には同意書を書いてもらうが、全市で共通にした方がいいと思う。3 つ目、Teams で子供たちが勝手にグループを作ることができる。制限が必要ではないか。

事務局:持ち帰りが増えれば破損のリスクが増えることは認識している。破損の対応については内容により、学校、保護者と個別に対応したいと考えている。同意書については、保護者の方にタブレットを大切に使用していただきたいといった内容の案内はしているが、同意書をもらうかは検討していきたい。清陵中の破損の対応について教えて欲しい。

委員:保護者にほぼ同意をいただき、動産総合保険に加入している。保険料は保護者負担。個々のChromebookに加入している。1台5万円まで保証される。正規の販売店で修理すると高く5万円を超えることが多いので個人経営のお店で修理している。

会長:保護者負担になってしまうがPTA保険で対応できるのではないかと。今後検討してもらいたい。Teamsの制限については必要であると思う。学校のタブレットなので先生方が子供たちの使用状況を把握できないのは好ましくないと思う。オンライン上のソフトは使えば使うほど課題が見えてくる。学校だけでなく、市全体で共有できればよいと思う。

(2) 諏訪市 ICT 教育推進計画策定に向けた意見交換

【事務局より説明】(資料 No2)

質疑・意見交換

委員:P4「個別最適化された学び」という言葉について、教師が子供に対して最適な学びを用意するというニュアンスであり、それは本来のねらいではなく、子供が自分自身で最適化していくのが本来の狙いであるため「個別最適な学び」というのが適切ではないか。

事務局:貴重なご指摘ありがとうございます。検討する。

委員:チャットやグループを作ってしまう生徒がいる。制限ができるようであればお願いしたい。

委員:しっかり計画が立てられている。情報機器は頻繁に更新されるので柔軟に対応できるようにお願いしたい。

委員:IT関係は変化が激しいので都度見直しをお願いしたい。また、学校へのサポートとして企業のITを触れさせたり、勉強する機会を子供たちに提供してもらいたい。

会長:ICT教育は、地域とともに歩むことは重要だと思う。ICT支援員も地域の方に協力いただけるようなら充実すると思う。

委員:この計画は細かく考えられていると思う。先生だけで進めて行くのは負担が大きいと思うので家庭も一緒になって進めて行きたい。保護者の中にはICTについて認識していない方々も大勢いると思うので家庭への情報提供や指導をお願いしたい。

委員:本校でも学級閉鎖になっているクラスがある。双方向はまだ難しいが、先生方もオンライン授業を工夫して行っている。いい意味でコロナ禍によって先生方もやり方をマスターした。推進計画もまとまってきたのでありがたいと思う。地域の方や保護者の方に協力してもらえ体制が整ってきた。

委員:中洲小でもオンライン授業を実施しているが、先日、うちの息子がTeamsにうまく繋がらず、私がWindowsのアップデートをしたらうまくいった。実際繋がらなくなると、子供たちは授業に参加できず、勉強以外のこともできてしまう。繋がらないことが逃げ道になってしまうこともある。

会長:正に現場が抱える問題だと思う。繋がらなければ自宅にいる子供の状況は先生が把握できない。コロナの状況もあり、本日初めてオンライン開催したが改善点などもあったと思う。次回以降改善してもらいたいと思う。

4 次回以降協議会の開催予定について

教育総務課長:本日の協議会でいただいた意見を反映させる中で最終案を委員の皆様に提示したい。

今回の第3回が本年度最後の協議会となる。次年度の第1回は5月に予定し、年4回程度を予定している。

5 その他

特になし

6 閉会(教育次長)

(17:28 終了)